

フルミストの接種について

【フルミストのメリット】

- ① 鼻からの投与なので全く痛くありません（左右の鼻腔に 0.1ml ずつ噴霧します）。
- ② 1 回の接種で免疫がつきます。鼻の粘膜に直接免疫をつけるので、従来の注射型不活化ワクチンより高い予防効果が期待できるとされています。
- ③ 効果は従来の不活化ワクチンより長く、1 年程度続くとされています。

【フルミストのデメリット】

- ① 生ワクチンのため、接種後 2-8 日後に発熱や風邪症状がみられることがあります。
約 1.8%の頻度でインフルエンザ症状を発症することがあります、
- ② 鼻汁・鼻閉が強い場合、十分な効果が得られない可能性があります。

【接種上の注意点】

- ① 鼻汁・鼻閉等がある場合、症状が軽減してから接種することをお勧めします。
- ② 喘息のコントロールが十分でないお子さんは接種をお控えください。また、アスピリンや免疫抑制剤を服用中のお子さんも接種をお控えください。
- ③ フルミストには卵成分が含まれているため重度の卵アレルギーがあるお子さん、またゼラチンに対しアナフィラキシーなどの既往のあるお子さんは接種を避けてください。
- ④ 接種後 2 週間は、乳児あるいは免疫不全の方や免疫抑制剤を使用している方との接触を避けて下さい。
- ⑤ 接種前後において、タミフルなどの抗インフルエンザ薬の使用を控えていただく必要があります。
タミフルなどを服用すると、フルミストの効果が減弱する可能性が指摘されています
- ⑥ フルミストの接種を選択された場合は、注射型不活化ワクチンの接種はできません。